

# 山口と七卿落展

幕末期の文久3年（1863）8月18日、攘夷熱が高じて天皇をも出陣させようとした長州藩とその仲間の公家七人は、薩摩藩と会津藩の策略で一挙に京都御所から追放されました。（世にいう八・一八の政変です）



（左下図書より）  
三条実美(27才)

- 三条西季知 さんじょうにしすえとも（52才）
- 東久世通禧 ひがしくせみちとみ（31才）
- 壬生基修 みぶもとなが（29才）
- 四条隆詞 しじょうたかつた（36才）
- 錦小路頼徳 にしきこうじよりのり（29才）
- 沢宣嘉 さわのぶよし（29才）

追放された一行は、妙法院

という寺で、今後のことについて話し合いました。

会議は白熱し、夜を徹して

行われました。その結果、今

の力で戦っても勝ち目がない

ので、いったん長州へ退き再

起するタイミングを待つとい

うことになりました。8月21



三条実美公履歴「七卿回天史絵巻」(マツノ書店)  
東久世通禧 文 田中有美 画  
山口県立図書館にあります。

## 菜香亭歴史学習会

### 七卿の足跡全紹介

去る5月13日に前篇、6月2日に後編ということで、歴史学習会が行われました。2018年に明治維新150年、来年は七卿落から150年ということです。講師の松前了嗣氏は、大内まちづくり協議会史跡マップ編集委員をされています。



松前さんのお話で、幕末の志士たちの青春が活き活きと甦りました。

松前氏お気に入りの本・三条実美公履歴「七卿回天史絵巻」や色々な文献、松前氏が実際に訪れて撮られた史跡写真などをもとに当時の様子をわかりやすくお話いただきました。それはまさに若き七卿をはじめ、側近やボディーガード、家来たちの幕末青春グラフィティーといった趣きでした。たくさんさんのこぼれ話の中から2つ…。

#### 「ながそで」呼ばなごひ

三条実美は禁門の変以降、「長州に来たらには、何か役に立ちたい」という思いから剣術を教えるほしいと家来に頼んで稽古をつけてもらっています。お公家さんのことをちまたでは「長袖」と呼び、実践では役に立たないと陰口をたたかれることもあったようですが、尊皇攘夷の旗振り役として長州藩を最後までバックアップしてくれた大・大恩人です。

#### 海底に眠るお三の刀

三条実美の側近だった京都出身の尾崎三良は、上京する長州軍の最後の部隊に三条公とともに乗り込んでいました。ところが上関で船が停泊した際、港の娘の世話を焼いているうちに船に乗り遅れてしまいました。尾崎さんは小舟を自ら漕いで追いかけてきました。やっと追いついたものの乗り移るときに失敗して海に落ちてしまい、さらに泳いだため腰ひもがばらりととけて新調したばかりの刀が抜けおちてしまったそうです。無事船員にひっぱりあげてもらい一行と共に京都をめぐりました。（上関の沖に眠っている刀は今…？）



お公家様たちは、長州で大変もてなされました。梅に桜、藤などの花見といっってはお酒を飲んだり、詩を読んだり結構優雅にお遊びになっておられました。他にも松茸狩りやうさぎ狩り、鳳雛山に山登りなど、すいぶん楽しくお過ごしになっていたようです。

#### 七卿落メンバーが立ち寄った市内のスポット（）は目的



- 朝倉八幡宮（攘夷祈願 参拝）
- 大林寺（梅見 酒宴）
- 岩戸山（桜見 登山）
- 赤妻山近くの岩本家（松茸狩り）
- 福田外郎の裏山（松茸狩り）
- 龍蔵寺（滝見）
- 山口大神宮（参拝）
- 水上真光院（うさぎ狩り）
- 長野八幡宮（藤見）
- 湯田お茶屋（入湯）
- 鳳雛山（登山）
- 林光井手（鯉獲り見物）

「山口と七卿落展」は明治維新版山口お宝展の一環で4月26日から6月15日まで開催しました。大変反響があり連日多くの方が見学に來られました。

展示室には、七卿の護衛として活躍した土佐藩の土方久元や長州藩の野村靖、長州藩最後の藩主毛利元徳らの直筆の書や、小郡の大庄屋秋本家が公家たちが食事をとった際使ったといわれるお箸も展示され、七卿が山口で過ごしたことをリアルに物語る品々が並びました。

元治元年七月禁門の変で、長州藩の来島又兵衛、入江九一らが戦死し、久坂玄瑞も自刃。また久留米出身の真木和泉も自刃して異郷の地で命を果てました。彼は三条実美の側近でした（正月かざりの松を引き朝倉八幡宮に同行しています。尊王攘夷が実現できるよう一緒に手を合わせたかもしれません）。長州藩の革新派の長であった周布政之助は情勢悪化の責任をとって自刃しました。そんな時勢に長州藩の危急存亡を救うために立ち上がったのが、高杉晋作でした。彼は功山寺の三条実美をたずね、ここで打倒保守派を誓って出陣しました。多くの志をもった若者の死はここに結実して明治維新という新たな世を生み落しました。



応募者多数で定員オーバー。松前氏のユーモアと山口弁たっぷりの楽しい語りで会場に笑い声があふれました。

#### 臨時総理大臣が生まれる場所…？！

湯田の井上馨の実家（現在、井上公園）には、当時毛利敬親が三条さんのために作った離れがありました。三条さんは文久4年（28才）の正月をこの地で静かに祝いました。…偶然ですが、井上馨と三条実美はそれぞれ臨時で総理大臣になっています。



三条公が植えた松がある井上公園  
三条公も湯田のお湯に浸かり疲れを癒したでしょう。

山口市菜香亭だより

# 西の菜時記

平成24年6月25日発行  
第25号  
発行元：山口市菜香亭  
指定管理者  
特定非営利活動法人  
歴史の町山口を甦らせる会

山口市菜香亭だより

# 西の菜時記

平成24年6月25日発行  
第25号  
発行元：山口市菜香亭  
指定管理者  
特定非営利活動法人  
歴史の町山口を甦らせる会